

第70回

島根県治安災害連絡協議会

協議会の様子



平成27年6月10日、出雲駐屯地司令（伊達2佐）は、第70回島根県治安災害連絡協議会を開催した。

本協議会は、12機関により構成され、治安・公安情勢並びに災害発生時における対応等に関して情報及び意見交換を行うことにより、相互の連絡調整と親睦を図ることを目的として平成7年に発足したものであり、各機関が持ちまわりで開催しており、今回は70回目となる節目の協議会を出雲駐屯地が担当した。

当日の協議会には、松江地方検察庁検事正、神戸関税税関支署長、境海上保安部長、浜田海上保安部長、航空自衛隊美保基地司令及び高尾山分屯基地司令の他、オプザバーとして島根県防災部長、中国公安調査局松江駐在官室長及び第八管区海上保安部美保航空基地長が出席した。



▲偵察隊・施設隊による訓練展示▼



協議会は当初、駐屯地会議室において、駐屯地司令から陸上自衛隊の業務等について説明が実施され、その後、各機関からの情報・意見交換が活発に実施された。その後、場所を屋外に移し、駐屯地グラウンドにおいて、偵察隊及び施設隊の訓練状況及び装備品等の研修が実施された。特に、小銃の射撃術、87式偵察警戒車及び81式自走架柱橋に関しては、参加者から多くの関心が寄せられていた。

研修の後、駐屯地幹部食堂において昼食会が行われ、和やかな雰囲気の中、各機関の意思疎通とともに、今後の益々の連携強化を確認して、協議会は所望の成果を収めて終了となった。



▶隊員による土嚢積み指導



▲通走路強度試験

出雲駐屯地（司令 伊達2佐）は平成27年6月8日、西日本高速道路メンテナンス中国株式会社松江保全事務所の要望により、協同訓練を実施した。

訓練は災害時等において高速道路に亀裂や段差が生じた場合を想定し、緊急車両等の通行路を確保するため簡易的な補修要領について演練した。

駐屯地からは駐屯地警備幹部（日野2尉）以下6名が参加し、先ず土嚢作成及び積み方の指導を第304施設隊（隊長 渡邊2佐）の小手川曹長と三宅2曹が行い、西日本高速道路メンテナンス中国株式会社の参加者約25名が約450袋の土嚢を作成し積み上げ通行路を作り上げた。

参加者達は真剣に取り組み2時間で作業を完了させた。通行路完成後は実際に82式指揮通信車を通して、重車両通行に耐えうるものかどうかを確認し、陸上自衛隊出雲駐屯地と西日本高速道路メンテナンス中国株式会社松江保全事務所の連携強化を図ることができた。



発行所 島根県隊友会
編集協力 出雲駐屯地 広報室
印刷所 (有)福岡秀文堂



NEXUSの協同訓練
（西日本高速道路メンテナンス）
（中国株式会社松江保全事務所）

部 外 者 航 空 機

体 験 搭 乗

駐屯地（司令 伊達 2 佐）は 5 月 30 日に第 13 飛行隊（防府）の支援を受け、平成 27 年度「部外者航空機体験搭乗」を行った。当日は、駐屯地に対する支援・協力関係にある関係者を始めとする、33 名が参加した。

参加者はフライトに先立ち、パイロットによる航空機に関する安全教育を受講した後、待望のフライトに臨んだ。爽やかな天候の空の下、UH-1 の低いローター音が駐屯地グラウンドに響き渡り、10 時に 1 組目のフライトが開始された。



▶ UH-1 に乗り込む参加者

各組は駐屯地グラウンドを離陸し、出雲市内上空の空中散歩を約 15 分間楽しんだ。いずれの搭乗者も郷土の景観を上空から確認し、上機嫌であった。

「私たちの住む出雲は自然豊かな所だと改めて実感し、この出雲で生活できることに感謝したい。」

「ヘリコプターには初めて乗り、パイロットの方の操縦がとても上手で振動も少なく快適で感動しました。」等の声が聞かれた。



U H-1 J

アメリカで開発された多用途ヘリコプターで、陸上自衛隊では UH-1H を 1973 年度から UH-1J を 1993 年度から導入しており、陸上自衛隊の輸送ヘリコプターの代名詞的な存在になった。陸上自衛隊の作戦にヘリボーンを取り入れる原動力となり、この機体 2 機あれば、完全武装した 1 個班の普通科隊員に加えて 2〜3 日は楽に活動できる物資を運ぶことが可能である。

対戦車ヘリ A H-1S と同じエンジンに換装された UH-1J は、1800 馬力の高出力型エンジンを搭載したのに加えて赤外線前方監視装置を採用。コックピットもナイトビジョンゴーグルに対応したタイプに変更されるなど夜間飛行能力が向上している。

U H-1 J 性能・諸元

- 全長：17.44m
- 全幅：14.69m
- 全高：3.97m
- 全備重量：4.763 t
- 巡航速度：約 240km/h
- 航続距離：約 460km
- 実用上昇限度：約 5334m
- エンジン：T53-K-703
- 出力：1800SHP × 1
- 乗員：2 + 11 名
- 製作：富士重工（機体）・川崎重工（エンジン）

海自最大の護衛艦「いずも」

大 社 沖 に 投 錨

海上自衛隊の最新鋭、最大の護衛艦「いずも」

（約 1 万 9 500 t）が 5 月 18 日に横須賀港を出港し、休養と補給のため 5 月 31 日から 6 月 4 日までの間、出雲市大社漁港約 2 キロメートル沖に投錨し停泊した。

この「いずも」は全長 248 メートル最大幅 38 メートルで、今年の春就役したばかりである。ヘリコプター 5 機が同時に発着できる甲板などを備えている。

停泊期間中、日本海に浮かぶ巨大な雄姿は見学者達に驚きと感動を与えている。

▶ 日本海に浮かぶ「いずも」の雄姿



▼ 甲板を視察する駐屯地司令（手前右）



守りたい人がいる

地域の皆様と共に 出雲 住む 地

守りたい人がいる

祝 定年退官

業務隊

2等陸尉 和久利 厚

帰住先…出雲市



永年の勤務お疲れ様でした。

偵察隊

陸曹長 岡本 明博

帰住先…出雲市



和久利2尉経歴

昭和57年	1月	第112教育大隊 (山口) 前期教育入隊
	4月	第8普通科連隊 (米子) 後期教育隊
	7月	同
平成5年	3月	第13師団司令部付隊 (海田市)
平成11年	3月	第13対戦車中隊 (出雲)
平成18年	3月	第47普通科連隊 (海田市)
平成25年	8月	出雲駐屯地業務隊 (出雲)

この間、業務隊宿舎管理係、小銃手、文書陸曹、庶務陸曹、小銃班長、第3部文書陸曹、第3部化学陸曹、第3部運用訓練陸曹、HATM班長、小隊陸曹、対戦車小隊陸曹、対戦車小隊長、小銃小隊長、人事幹部、服務幹部、総務班長の職務を歴任されました。

岡本曹長経歴

昭和55年	3月	第112教育大隊 (山口) 前期教育入隊
	6月	第13偵察隊 (出雲) 後期教育隊
	9月	同
平成5年	8月	第5偵察隊 (別海)
平成10年	8月	第13偵察隊 (出雲)
平成21年	3月	米子駐屯地業務隊 (米子)
平成25年	8月	第13偵察隊 (出雲)

この間、斥候員、斥候陸曹、無線通信陸曹、信務陸曹、情報陸曹、検収係、物品管理係、警備消防陸曹の職務を歴任されました。

出雲駐屯地を知る会

駐屯地へ看板を寄贈

この度、出雲駐屯地を知る会より出雲駐屯地シンボルマークの看板を寄贈して頂き、5月20日設置が完了しました。大変ありがとうございました。



▲正門哨所に取り付けられたシンボルマーク



▲本部隊舎玄関に取り付けられたシンボルマーク

出雲の女 ひと



明るく人懐っこい笑顔が
素敵な出雲美人

藤井 智子さん

出雲市内の某コンビニエンスストアで勤務なさっている藤井智子さんから応援メッセージをいただきました。

「私たちが国を守って頂きありがとうございます。ずっと応援しています。」

男らしい人が理想の男性という藤井さん。これからも応援よろしくお願いします。

平成 27 年度

第 1 回 予備自衛官招集訓練

駐屯地は 5 月 14 日から 18 日までの間、平成 27 年度第 1 回予備自衛官招集訓練を実施し、第 13 偵察隊三代 3 尉が訓練隊長となり訓練を担当した。

当日は、訓練招集命令書を持参した予備自衛官が受付にて被服等を受領し、戦闘服に着替え訓練に備えた。

訓練開始式では担任官（偵察隊長 伊達 2 佐）に、田中貫三予備 1 等陸尉が現役時代を彷彿させるような堂々とした申告を実施した後、予備自衛官旗を授与され、「他国の軍隊に比べ現役より予備役が少ない我が国、自衛隊にとって予備自衛官に対する期待は大きい。しっかりと訓練に励んで貰いたい。」と担任官の訓示を受けた。

訓練課目は、武器訓練・体育訓練・基本教練・救急法及び野外衛生・特殊武器防護・野外勤務（歩哨の行動）・通信機材（広域多目的無線機の概要）・空路



▲予備自衛官旗の授与

潜入（航空機基礎的事項）と、とても内容の濃い訓練であった。

参加した予備自衛官は現役と変わらず終始積極的に訓練に取り組み、とても頼もしく感じられた。

また、訓練期間中、久しぶりに旧友と再会を果たした予備自衛官は互いに親睦を深め合い現役時代の思い出話に花を咲かせていた。

最終日、訓練終了式を終えた予備自衛官は、駐屯地所在の現役自衛官が見送る中、「訓練をやり遂げた」という少し誇らしげな顔つきで駐屯地を後にした。



御礼申し上げます
広報誌「出雲」7月号の発刊に際し御持志を浜渦 官男様よりいただきました。ありがとうございました。

読み終わったら 家族にも 見せよう

陸上自衛隊出雲駐屯地

入場料無料

8月30日 9:00開門

駐屯地一般開放

是非ご来場ください!!!

サマーフェスタ 2015

自衛隊の装備品が間近で見られる

予定イベント (10:00~15:00)

- 音楽演奏
- オートバイドリル
- 戦車試乗
- 制服試着
- 装備品展示
- 売店等

公共機関をご利用ください。駐屯地には車がいっぱいあります。駐屯地周辺の交通規制によるシャトルバス（バス運行します。）の天候等により一部イベントを中止する場合があります。

1. 公共機関：出雲駅 バス、タクシーで約15分
バス出雲大社・白旗崎行先「自衛隊前」で下車徒歩2分
2. 車でお越しの方は北門よりお入りください
3. 自転車・徒歩の方は正門よりお入りください

お問合わせ / 陸上自衛隊出雲駐屯地 ☎0853-21-1045 (内線 250) 駐屯地電報